

授業科目 社会福祉援助技術現場実習Ⅱ A				科目コード番号		
【担当教員名】 横山豊治 伊藤富士江 塩見義彦 伊東正裕 豊田 保 柴山悦子 丸田秋男 廣瀬清人 松井奈美		対象学年	2	対象学科	社会	
		開講時期	前期	必修・選択	必修	
		単位数	3	時間数	90 (学内指導30・現場実習60)	
【概要及び学習目標】						
<p><概要></p> <p>3年次の本実習（社会福祉援助技術現場実習Ⅱ B）に備え、社会福祉施設での現場実践を短期間体験し、施設における日常業務の展開、職員の働き、利用者の状況等についての基礎的な理解を図る。</p> <p>4～5月は学内での事前指導を行い、実習目的と現場配属実習に臨む上での基本的な留意事項等の理解を図るとともに、実習先の施設・分野に関する事前学習をグループ単位で行う。6～10月の期間に各自が5～6日間程度の現場配属実習を新潟県内の福祉施設で行う。</p> <p><学習目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習目的を明確化する 2 実習に際しての基本的な留意事項を理解する 3 各実習施設の分野に関する予備知識を修得する 4 各配属先で実習目的の達成に努める <ol style="list-style-type: none"> ①社会福祉施設における日常業務の流れと施設の機能を理解する ②社会福祉施設における利用者について具体的に理解する ③社会福祉施設における職員の構成と主な役割を具体的に理解する 						
回数	学習の主題	学習内容			学習方法	
1	事前指導・全体学習①	本授業の進め方と実習の目的、実習先との連絡方法等について理解する			講義	
2	事前指導・全体学習②	福祉現場のゲスト講師より「実習生に望むこと」を伺い、留意点を掴む			講義	
3	事前指導・グループ学習①	実習先の施設種別ごとにグループに分かれ、各分野の理解を深める			講義・演習	
4	事前指導・グループ学習②	同上（実習ノートの記入方法の確認を含む）			講義・演習	
5	事前指導・グループ学習③	同上			講義・演習	
6	事前指導・グループ学習④	同上			講義・演習	
7	事前指導・グループ学習⑤	同上			講義・演習	
8	事前指導・全体学習③	実習先での行動上の留意点、実習後の報告等、事前の最終確認を行う			講義	
9	6～10月 現場配属実習	5～6日間、各配属先にて現場実習を行う			実習	
10		・配属先、実習日程は別途通知			実習	
11		・実習終了後、報告を行い実習ノートを提出する			実習	
12		・実習後指導と実習の総括については後期の「社会福祉援助技術演習Ⅰ」			実習	
13		の授業内で行う			実習	
14					実習	
【評価方法】						
事前指導への出席状況、実習先からの評価結果、実習ノートの記載内容から総合的に評価する。						
【履修上の留意点】						
<ul style="list-style-type: none"> ・事前指導は実習に向けての留意事項等、重要な説明が含まれているため、必ず出席すること。 ・現場実習は施設職員と利用者の方々の理解と協力によって行われるものであることに十分留意し、誠実な態度で臨むこと。 ・その他、『現場実習の手引き』を熟読し、必要な報告や書類等の提出は確実にすること。 ・上記の学習内容は変更される場合もあるので、担当教員の指導にそうこと。 						
【使用図書】						
教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他		
教科書	『社会福祉実習サポート～初めて実習生となるあなたへ～』	社会福祉実習研究会 編集	中央法規	2000年発行 2000円+税		
その他	『現場実習の手引き』		新潟医療福祉大学	2002年発行		
その他 (プリント等)	適宜プリントを配布する					